

子宮頸ガンワクチン（HPVワクチン）接種のご案内

最近、20～30代の若い女性に急増している子宮頸ガンは、HPV（ヒトパピロマーウイルス）というウイルスが原因であることが明らかになりました。HPVはごくありふれたウイルスで、一般女性の80%は、生涯に一度は感染するといわれています。感染しても、そのほとんどは細胞性免疫により排除されますが、1000人に1人程度の割合で子宮頸ガンが発生します。

100種類以上にわけられるHPVの中でも、子宮頸ガンを発生させるのは13～15種類ほどです。そのうち特に多いのは16型と18型で、世界の約70%の子宮頸ガンの原因ということがわかっています。このHPVの感染を予防することで子宮頸ガンの発生を抑えようとワクチンが開発され、現在は世界100ヶ国以上で予防接種が行われています。

日本でもこの予防ワクチンは2009年10月に厚生労働省から正式に承認され、当院でも接種が可能となりました。

対象者：満10歳～55歳の女性

16歳未満の場合は保護者の同伴が必要です。

20歳未満の場合は保護者の同意が必要です。

56歳以上の方は、田幡雅彦医師 にご相談下さい。

接種：6ヶ月間に3回行います。

2回目 1回目のワクチン接種から1ヶ月後

3回目 1回目のワクチン接種から6ヶ月後

予約：初回 田幡雅彦医師 にご受診いただきます。

受診後、1回目のワクチンを接種します。

2回目・3回目 1回目の接種時に1ヶ月後・6ヶ月後のご予約いただきます。

料金：ワクチン接種3回分のセット料金 60,000円（税金）

初回受診時にお支払いいただきます。

【ご注意】 患者様のご都合で2回目以降の接種をキャンセルされた場合は、返金しかねます。

たばたクリニック

03-3959-3716

ホームページ：<http://www.ikebukuro-clinic.com>

子宮頸ガンワクチン（HPVワクチン）に関するQ&A

Q1 ガンのワクチンがあると聞いたけど？

A 最近、20～30代の若い女性に急増している子宮頸ガンを予防するワクチンです。子宮頸ガン原因は、ほぼ100%ヒトパピローマウイルス（HPV）感染でありワクチンを接種することでウイルスの感染予防ができます。しかしワクチンには、既に発症しているがんや異形成の進行を遅らせたり、治癒させる効果はありません。

Q2 子宮頸ガン予防ワクチンの効果は？

A 発ガン性ヒトパピローマウイルスは15種類あります。そのうち発ガン原因の60～70%を占める2つのタイプをワクチンでほぼ100%感染予防します。しかし、ワクチンで感染を防げないタイプもありますので、100%子宮頸ガンを予防できるわけではありません。

Q3 注射は3回しないとダメなの？

A 1～2回では効果が十分でない可能性があり、必ず3回接種してください。

Q4 3回注射を接種したら一生効果は続くの？

A このワクチンの効果をみる試験が始まってまだ8年弱です。現時点では7年間を効果が持続することが分かっており、現在も経過観察が続いています。今までのデータを元に統計的予測計算すると、20年以上効果が持続するとの報告もあります。

Q5 ワクチンを接種できる条件は？

A 10歳以上の女性であり、妊婦の方でなければ接種できます。妊婦の方は、出産後に接種して下さい。ワクチンを接種する期間中に妊娠が分かった方は、妊娠が分かった時点で次回の接種を延期し、出産後に残りの回数を接種して下さい。

Q6 ヒトパピローマウイルスに感染している人へのワクチン接種は？

A 接種は可能です。下記理由にて有効です。

- ・ ワクチンのターゲットとするウイルスは主に2種類（ヒトパピローマウイルス 16型および18型）です。両方が同時に感染している可能性は1～2%程度であり、片方の感染予防としてワクチン接種は有効です。
- ・ 一度感染したウイルスの90%は体から排除されます。次の感染予防にワクチン接種は有効です。ワクチンを接種する判断のためにウイルスDNAテストをする必要はありません。

Q7 性経験のある人へのワクチン接種は？

A 有効です。日本において、ワクチンのターゲットとする2種類のウイルス（ヒトパピローマウイルス 16型または18型）に感染している確立は以下の通りです。

10代後半 : 15%弱

20代 : 5%強

30代前半 : 5%程度

30代後半以降 : 5%弱

よって多くの方にワクチン接種による感染予防効果が期待できます。

Q8 56歳以上の人はワクチンは接種できないの？

A 接種は可能です。ただ、56歳以上の方については有効性、安全性についてのデータがありません。56歳以上の方でワクチン接種をご希望の方は、田幡雅彦医師までご相談ください。

Q9 HPVワクチンを接種したら、子宮頸がん検診は受けなくてもいいのですか？

A ワクチンは100%子宮頸がんを予防できるわけではありません。子宮頸がん検診は定期的に受けてください。

詳しくはこちらのWEBサイトをどうぞ >> <http://allwomen.jp>

すべての女性のための子宮頸がん情報サイト